



祇園学区 社協だより

令和6年12月
第73号
発行
祇園学区
社会福祉協議会
編集・広報部

高齢者への 尊敬と感謝 敬老会

令和六年の敬老会は、九月八日(日)九時より、祇園小学校体育館にて開催されました。例年にない暑さが続く中でしたが、多数の方に参加いただきました。

本年も参加者の方々にお祝い品と祇園保育園・清心幼稚園児手作り贈り物、祇園小学校児童の手紙が渡されました。

式典の部は「君が代」斉唱の後、祇園学区社会福祉協議会堀江正憲会長の挨拶で始まり、続いて、来賓の安佐南区長高石様、市長祝辞を代読され、祇園中学校宮野高広校長先生と市議会議員椋木太一様より祝辞をいただきました。



安佐南区長 高石様

敬老の日に向けて、祇園中学校の丸尾脩介君と西浦聡太君の作文発表があり、会場よりの盛大な拍手で式典の部を終了しました。(お二人の作文は次頁に掲載)

祇園小学校清水剛校長先生よりの挨拶で、日頃の感謝の気持ちを伝えられ余興が始まりました。祇園小学校3年生有志による児童たちが「茶摘み」を手拍子を入れながら歌うと、参加者も一緒に手拍子をしながらいっしょに歌いました。「あの雲のように」のリコーダー演奏と「ね」を元気いっぱい歌ってくれました。

続いて、山内龍児&吉永菅子によるルンバで「アイノカタチ」を披露されました。水真流清心吟詠会武田山支部は、詩吟「巖流島」を吟じられ「なかよし音頭」を会場の皆さんと一緒に歌いました。次に、猫じゃらしのお二人によるウクレレ演奏に合わせて「上を向いて歩こう・365歩のマーチ」を楽しく歌いました。日東流広島剣友会より、3人の方が舞踊を舞われました。祇園に残していきたいと、願いを込め祇園音頭保存会による「祇園音頭」で余興終了となりました。



原野様による謝辞



客席の様子

祇園小3年生

最後に北上地区の原野祐三様より、謝辞を述べられ敬老会は無事閉会となりました。

中学生の作文

敬老の日によせて

祇園中学校三年

丸尾 脩介



今日は、敬老の日おめでとう
ございます。

いつも横断歩道での見守りなど
地域のために、いろいろな活動
をしてくださりありがとうございます。
晴れの日だけでなく、雨の
日などいつも学校に行く際に明る
い声であいさつしていただいでい
ます。今年は日差しが強く暑い
日々が続きますが、学校に行くの
も憂鬱な日が多くありました。で
すが明るく挨拶していただくと
元気が出て学校がもっと楽しくな
ります。たくさんの人に挨拶され
ている姿を見るとあいさつはとて

も大切なことだと思えることが
多くなりました。祇園中学校でもあいさ
つを大切に、より良い学校にし
ていきたいと思っています。

また、僕には小学生の弟がい
て一人で学校に行こうとするこ
きには少し心配になるのですが、
地域の方々が見守ってくくださるお
かげで安心して学校に送り出すこ
とができますし、小学生の子たち
が元気に登下校する姿を見ると僕
も大きなパワーをもらえます。毎
日笑顔で学校に行き帰ってくる
のでとてもうれしくなります。こ
のように、皆さんが毎日のように
横断歩道の見守りなど様々なこと
をしてくださっているおかげで、
僕たちは安心して生活することが
できています。またそのおかげで
地域としてもとても明るくなり、
学校もとてもよい雰囲気になら
れているのを感じます。5月には体
育祭も行われました。2つのグ
ループに分けて雨の中での実施と
なりましたが、3年生のソーラン
節をはじめとして記憶に残る最高
の体育祭となりました。また来月
には合唱コンクールも控えており

日々練習を重ねています。それに
僕たちはこうした行事だけでなく
テストや日々の勉強、部活などい
ろいろなことを頑張っています。
この街をさらに活気のあるものに
するため、僕も僕自身にできるこ
とを頑張ります。

祇園中学校二年

西浦 聡太



皆さん、こんにちは。今日は
このような場を設けていただき、
ありがとうございます。

まず、みなさんが元気にここ
に集まってくくださっていること
を、本当に嬉しく思います。皆さ

んの笑顔を見ると、私たちが元気
をもらえます。皆さんが長い人生
で学んだことから、私はたくさん
のことを教えてもらっています。
皆さんが歩んできた道のりは、
決して簡単ではなかったと思いま
す。それでも、家族や地域を支え、
私たちに愛と知恵を分けてくれま
した。そのおかげで、今の私たち
があります。皆さんが努力してく
れたことは、私たちにとても大切
なものです。

特に、登下校時の見守りなど、
毎日私たちの安全を守ってくだ
さっていることに心から感謝して
います。皆さんが見守ってくれる
おかげで、子どもたちは安心して
学校に通うことができます。その
温かいまなざしと励ましの言葉
が、どれほど心強い計り知れま
せん。

また、私たちがいつも気遣っ
てくださってありがとうございます。
皆さんの笑顔と優しさに励ま
され、力をもらっています。皆さ
んがそばにいてくれることが、私
たちの心の支えです。
今日、このような場で日頃か

敬老の日について

祇園小学校校長

清水 剛



まずは私たちの人生の先輩であ
り、これまで長い年月を歩んでこ
られた皆様に感謝と敬意を表した
いと存じます。

日々の生活の中で、私たちはつ
い忙しさに追われ、人生の先輩方
への感謝の気持ちを忘れがちです。
しかし「敬老の日」をきっかけに
改めて皆様のこれまでの歩みや、
私たちへ示してくださった多くの
教えを思い返し、その一つ一つに
感謝したいと思います。

私たちの社会や家庭が今ここに
あるのは、皆様が築きあげてくだ
さった土台があつてこそです。長
年にわたり経験された喜びや苦労、
それら乗り越えてこられた知恵

と力は、次の世代にとつての大切
な財産です。どうかこれからもお
元気で私たちにその知識と優しさ
を伝えていただけたら幸いです。

皆様のご健康と幸福を心から願
い、これからも末永く笑顔あふれ
る日々を過ごしていただけること
を祈っております。

さて、日頃より祇園小学校の子
ども達や学校行事等をあたたかく
見守っていただくとともにご支
援・ご協力をいただき誠にありが
とうございます。皆様のおかげで、
子どもたちは、この祇園の町の宝
としてすくすくと成長することが
できていると感じております。

今年度の敬老会では、二年生の
子どもたちが書いたお手紙をお渡
しするとともに、三年生の有志が
歌やリコーダー演奏を披露させて
いただきました。皆様にとって良
い思い出となれば幸いです。
おわりになりますが、これから
もこれまでの豊富なご経験とお知
恵をもとに祇園小学校の子どもた
ちや教職員に対し、温かいご指導、
ご鞭撻を賜りますようお願い申し
上げます。

第19回 広島経済大学 祇園・興動祭開催

11月10日に第19回祇園・興動祭
を開催しました。今年度は結(ゆい)
つながる祇園というテーマを掲げ、
地域のひととの縁をより深め、結び
つきを大切にしたいという思いで
行いました。

興動館内では多くの子ども達に
楽しんでいただきたお化け屋敷を
はじめ、宝探し迷路・プレスレッ
ト作り・車椅子ポッチャ・魚釣
り・ストラックアウト・笛づくり
が開催されました。

また、広島豪雨災害から10年と
いうことから興動館1階では防災
体験ブースを設置して、パネル展
示や防災グッズについて学べる
コーナーを開催し、多くの人にこ



来年度は20
回目という節目
なのでぜひお楽
しみに!!

「神輿は何のために担ぐのか」



(興動祭実行委員さん
より寄稿していただき
ました。)

安神社の夏祭りが、7月20日と
27日に行われました。20日には子
ども神輿が、27日には大人神輿が
出されました。

この神輿は、祭りの時に神様が
地域内を回るために「輿」で、
それを肩に担ぎ神社近隣の地域を
回り、災厄や穢れを吸収して清め
たり、人々の願いを聞き入れたり
して、地域を守る為に、神輿担ぎ
が行われると言われていました。

また、いつも見守っている地域
の様子を神様に見て貰い、穢れを
祓い清めるもので、「わっしよい。
わっしよい。」と声を出して神輿を
担ぐのは、神の力を一層高め、そ
の力の恩恵にあずかるうとするた
めだと言われています。
そういう祭りでの神輿を来年は
担いでみませんか?

年輪ばんざい!!



【長寿者インタビュー】

奥元 定さん

祇園二丁目 (九十一歳)

健康への心掛は

自分のことは自分でするようにしています。起床、就寝、食事時間等、規則正しい生活をし、『いきいき百歳体操』に参加しています。

これまでで一番の思い出は

高等科1年の時、原爆投下時には竹原でもフラッシュのような光と爆風を感じました。小学3年の頃にラジオで聴いていた軍歌は、今でも覚えています。

趣味は何ですか

詩吟です。水真流清心吟詠会ではコンク

ルにも出たことがあります。

人生の先輩として次の世代に伝えたいことは

戦争はあってはならないことです。

【つもりちがいの十カ条】を教訓にし、元気でいてほしいです。

- ・高いつもりで低いのが教養
- ・低いつもりで高いのが気位
- ・深いつもりで浅いのが知識
- ・浅いつもりで深いのが欲望
- ・厚いつもりで薄いのが人情
- ・薄いつもりで厚いのが面皮
- ・強いつもりで弱いのが根性
- ・弱いつもりで強いのが自我
- ・多いつもりで少ないのが分別
- ・少ないつもりで多いのが無駄

後期高齢者の仲間入りをして

上地区

坂田 克則さん

若いころであれば、仕事や趣味など様々な事象に対して、好奇心が生じ積極的に「生きがい」を見いだせる機会が多かったです。

一方で仕事をリタイアし、社会的に繋がりを次第に失っていく高齢者はどの様に「生きがい」を感じているのでしょうか。何か特別な「生きがい」を求めるのではなく、日々穏やかな生活を送られれば良いという人もいます。

私は年に1回程度の国内外の旅行に「生きがい」を感じています。それというのも、私たちの結婚式の当日に大型台風が来て交通機関が止まり、新婚旅行が中止となりました。また、年

齢が40歳後半になると2年に1度の単身赴任が始まり、旅行どころではありませんでした。

第2就職の定年を迎える頃のことです。事情を知っていた息子の嫁の父親が突然旅行に誘ってくれました。私たちにとって初めての旅行です。しかも海外とのこと。本当に嬉しかったです。

しかし、いざ旅行に行くとなるとツアーガイドさんの歩く速さにはついていけません。それ以来、ほぼ毎日午前5時45分頃から1時間程度のウォーキングを10数年間続けています。また、3年ほど前から午前7時から通称カニ公園でラジオ体操にも参加しております。最近では地区の老人クラブの会員になり、「フレイル対策」として吹矢、ペタンクといった競技(?)にも参加しており、つくづく「健康であることが一番」だと感じています。



「今、地球で起こっていることを知ろう」「自然が私たちにしてくれること」「私たちができること」をテーマにクイズを交えたお話後半は「ランプシェードとぶんぶんゴマ作り」をしました。小学生24人の参加があり、「地球があつくなる理由を知れた」「地球温暖化に気をつけようと思った」「ゴミの分別に気をつけたい」「色々な物が作られたので楽しかった」「来年も来たるような楽しい授業だった」などの感想がありました。

令和6年7月26日、祇園集会所にて祇園西公民館の出前講座が行われました。
(株)ローリー Act Locally Advance 室 ALA室長 吉村隆文さんに講師をしていただきました。前半は「今、地球で起こっていることを知ろう」「自然が私たちにしてくれること」「私たちができること」をテーマにクイズを交えたお話後半は「ランプシェードとぶんぶんゴマ作り」をしました。小学生24人の参加があり、「地球があつくなる理由を知れた」「地球温暖化に気をつけようと思った」「ゴミの分別に気をつけたい」「色々な物が作られたので楽しかった」「来年も来たるような楽しい授業だった」などの感想がありました。

祇園西公民館・出前講座
目指せ！キッズエコ博士
未来のために僕たち
私たちができることは

お知らせ
祇園集会所耐震工事について
【工事期間予定】
令和6年10月～令和7年3月末
利用開始可能日は未定



10月1日、イオンモール出入口にて赤い羽根共同募金のお願いに立ちました。

赤い羽根共同募金

- 角田 綾子 氏
- 原野 アツ子 氏
- 池田 一水 氏
- 赤井 紀江 氏
- 秋月 八千代 氏

社会福祉協議会関係功労者
喜びの表彰